

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業評価シート						平成 28 年度事後評価・決算		所管課		学校教育課		担当班	指導班
事務事業名		コード	21119 教職員研修事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別				
				一般	-	-	-						
施策 体系	基本施策	11	学校教育の充実	根拠法令	教育基本法、学校教育法、教育公務員特例法								
	施策の展開	21	教育支援体制の充実	戦略事業	119	教職員研修事業							
	施策の展開			戦略事業									
									事業種別				
									☒ 主な事業				
									☐ 国土強靱化地域計画				
									☐ 新市建設計画				
									☐ 定住自立圏構想				
									☐ 主要事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市内の教職員に対しさまざまな研修の機会を保障し、専門性を高め、指導力向上を目指す事業である。毎年行う必要のある研修や時代のニーズに応じて必要となる研修を市独自に企画・運営し、年度ごとに見直しを行っている。 【参加対象】市内小・中学校教職員及び講師等
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
教育公務員特例法第 21 条には「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」と定めている。市では、児童生徒の学力向上や豊かな学びを保障するため、市内に勤務する教職員に独自の教職員研修を行っている。	教育を取り巻く環境は年々変化し、新たな課題も山積している。また、近年大量の教職員が定年を迎え、若手教員が増加する中、教職員研修の意義はますます重要性を増してきている。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
各研修への参加者の満足度は高く、9割以上の参加者が日程や内容に満足したと答えている研修が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (28年度の決算)		単位: 千円
② 特定財源の内訳 (28年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	0	
2. 都道府県支出金	0	
3. 地方債	0	
4. その他	0	

事業費	費目内訳	単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費計 (A)		千円					
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
財源	5. 一般財源	千円	0	0	0	0	0

前年度	
増減理由	

従事職員数	常時	1 人	最大	6 人	×	21 日	=	延べ	126 人
-------	----	-----	----	-----	---	------	---	----	-------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	28年度実績 (28年度に行った主な活動) 旭市小・中学校道徳教育研修会、旭市小・中学校校務システム伝達研修会、旭市外国語活動研修会、旭市小・中学校指導力向上研修会、旭市小・中学校若手教員育成研修会等、13の研修会		ア 旭市教職員研修会実施数	研修会	16	15	13	13	10
			イ 旭市教職員研修会実施日数	日	35	32	33	31	28

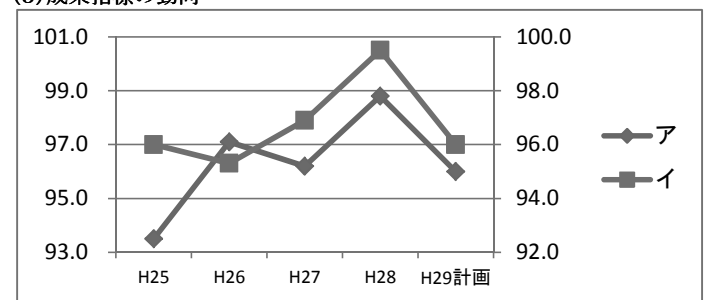
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	対象 市内教職員 意図 教職員としての専門性の高まり、指導力向上 対象意図		ア 研修会参加者の日程への満足度	%	93.5	97.1	96.2	98.8	96.0
			イ 研修会参加者の研修内容への満足度	%	96.0	95.3	96.9	99.5	96.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			④
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	成果動向
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☒ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()	ア 93.5 3.6 Δ0.9 2.6 Δ2.8 イ 96.0 Δ0.7 1.6 2.6 Δ3.5